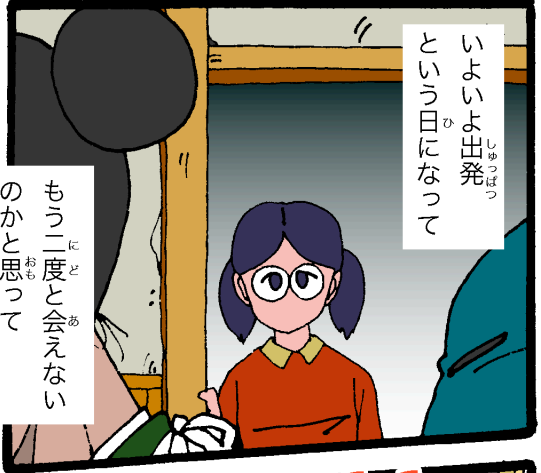
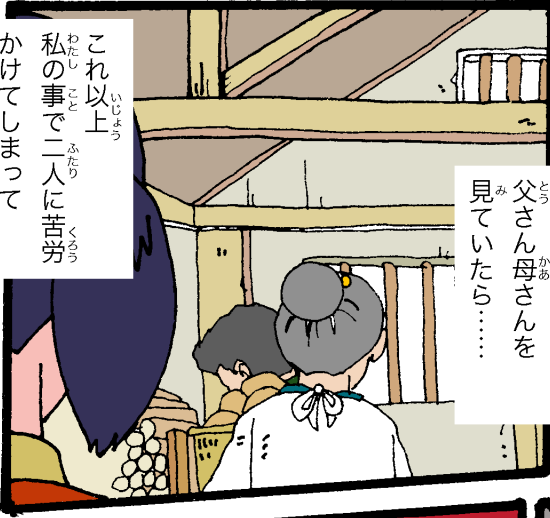


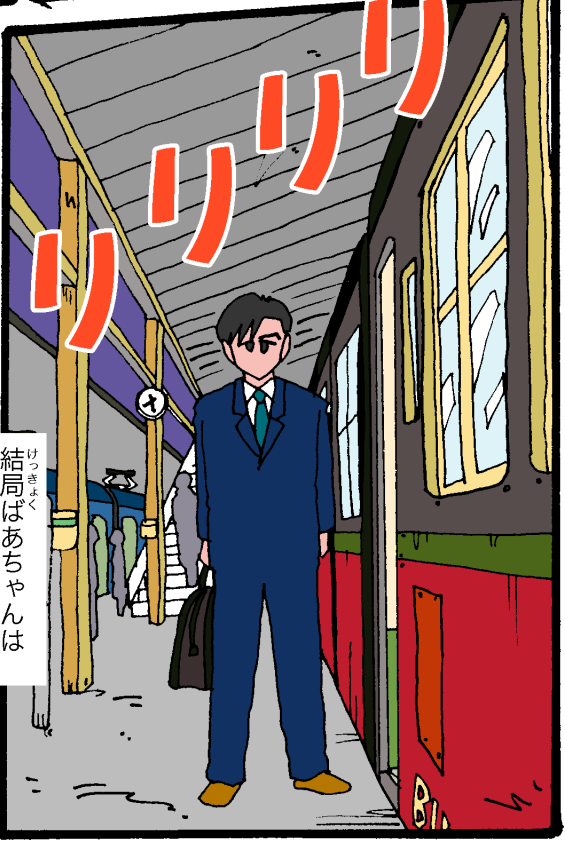
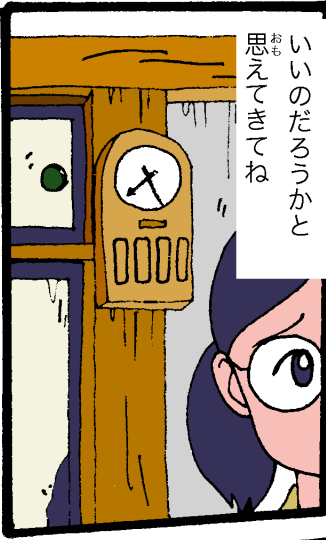
いよいよ出発  
という日になって



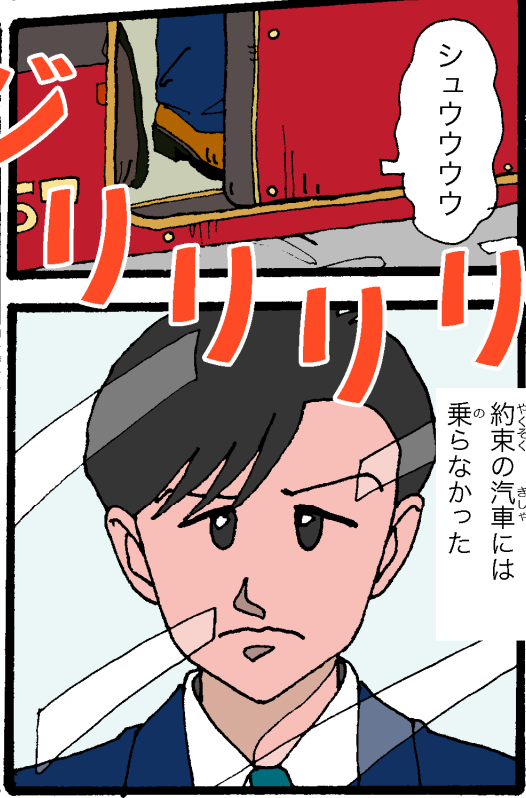
もう二度と会えない  
のかと思つて  
父さん母さんを  
見ていたら……



これ以上  
私の事で二人に苦勞  
かけてしまつて  
いいのだからかと  
思えてきてね



結局はあちゃんは  
約束の汽車には  
乗らなかつた



シューウウウ  
シューウウウ



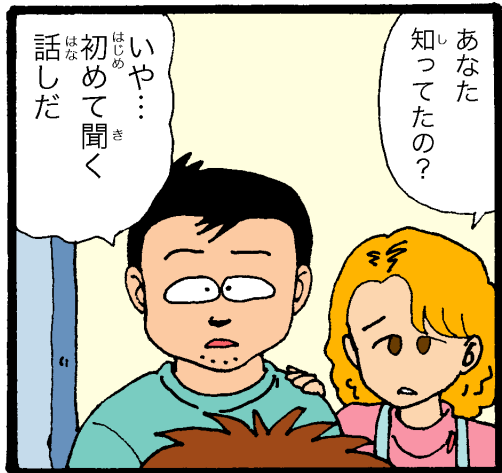
ばあちゃんのした事は  
差別なんだ  
その事は何んな言葉で言  
い訳したって変わらない



自分の事を誰よりも  
信じてくれていた人を  
裏切つて、傷つけて  
我が身の幸せだけを  
考えたんだ  
今でもそんな自分が  
くやしいし、  
恥ずかしいよ

亮一、人生の中では  
後になってどんなに  
後悔しても取り戻す事  
出来なくなつてしま  
うものがあるんだよ

あなた  
知つてたの？



いや……  
初めて聞く  
話だ



きつと  
おやじも  
知らなかつた  
事だらうな

母さん  
誰にも言わず  
自分一人で  
苦しんでた  
だらうな……